

甲状腺外科草子 81

飛行機嫌いの名機探訪：呉

杉野 圭三

呉市の大和ミュージアムは 2005 年開設され、戦前の呉市の造船技術を後世に伝える貴重な資料が展示されている。

呉駅に近い場所で交通の便は一見良好だが JR 呉線は回数も少なく時間がかかる。戦前から軍港として大きな役割を果たした呉への輸送を考慮すれば土砂災害などに強い路線計画が最初から必要だったのではないかな？

ミュージアム入口近くには戦艦陸奥の 41 センチ主砲（4 番主砲塔左砲身）と巨大なスクリュー、舵が展示され、来館者を驚かせる。陸奥は長門型戦艦で世界のビッグセブンと呼ばれたが、昭和 18 年（1943 年）柱島沖の爆発事故で沈没、原因は諸説あるが不明。



陸奥 41 センチ主砲

同スクリューと舵

また、最近では戦艦大和の 46 センチ主砲を制作した呉海軍工廠の大型旋盤が展示され話題となった。ドイツのワグナー社製、1938 年に輸入され戦後も継続使用され、今回の輸送設置費用はクラウドファンディングで 1 億円の寄付を集め展示可能となった。



戦艦大和の主砲を制作した旋盤

資料館内部で最も有名なのは、もちろん大きな話題となった戦艦大和の 1/10 サイズの模型である。確かに精巧な模型で存在感を示し、施設の目玉展示品となっている。



戦艦大和復元模型(1/10 サイズ)

しかし、それ以外にも貴重な資料が大量に収蔵・展示されている。その一つが零式艦上戦闘機である。大戦後期に改良された貴重な 62 型で、明治基地（愛知県安城市）第 210 海軍航空隊所属、昭和 20（1945）年 8 月 6 日に琵琶湖に不時着した機体を引き揚げ修復された。発動機は栄 31 甲型エンジン 1130 馬力、胴体下に 250kg 爆弾の懸吊架（落下増槽懸吊架兼用）を設けた戦闘爆撃機型である。



零式艦上戦闘機 62 型

武装も強化され、九九式二号 20mm 機銃 2 挺、三式 13.2mm 機銃 3 挺（機首 1 挺、翼内 2 挺）。速度・防御は改善されたが航続距離、運動性能は初期型に劣るとされる。

戦前日本の船舶や航空技術の数々が展示された貴重な展示館である。

参考資料：呉市海事博物館ホームページ

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2023 年 11 月 8 日